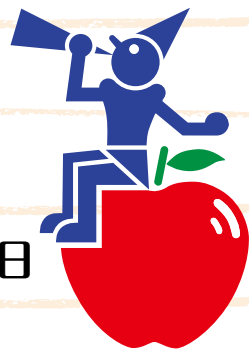


議会 だより



令和7年10月29日

いいだ市議会だより

IIDACITY-gikaidayori

No.244

編集/広報広聴委員会 発行/飯田市議会 〒395-8501 長野県飯田市大久保町2534



2025年10月 道の駅遠山郷グランドオープン(南信濃)

～ここで暮らす～ 合言葉は「遠山家族」



第3回定例会	2P
委員会	3～7P
ズバリ市政を問う(一般質問)	8～10P
常任委員会管外視察	11P
議員紹介	12P

令和7年

第3回 定例会

9月2日
～
9月29日
開催

定例会のあらまし

第3回定例会開会日に、執行機関側から「専決処分」の報告について（損害賠償の額を定めることについて）など報告案件2件、「教育委員会の委員の任命について」など人事案件3件、「職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について」など条例案件11件、「財産の取得について（中型路線バス車両）」など一般案件10件、「令和7年度飯田市一般会計補正予算（第3号）案」など予算案件6件、「令和6年度飯田市一般会計決算認定について」ほか特別会計も含め決算案件13件、合計45件の議案が上程され、所管の委員会に付託されました。

また、閉会日には条例案件1件、一般案件2件、予算案件1件が追加議案として上程され、所管の委員会に付託された後、本会議を休憩して常任委員会を開催し議案審査を行いました。

これらの議案はいずれも原案のとおり可決されました。

さらに、議員及び委員会提出議案として「地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について」の1件が上程され、原案のとおり可決されました。

議案に対する質疑と審査

委員会での質疑等の内容は、3ページからの各常任委員会のページでその一部を紹介いたします。

請願・陳情

今定例会では請願1件、陳情3件の審査を行いました。審査の状況は、各常任委員会のページでご確認ください。

【請願第3号】採択

政府・関係省庁に対し、「地方財政の充実・強化を求める意見書」を提出願いたい（総務）

【陳情第5号の1】継続審査

市に対し、高齢者のタクシーの利用助成をしてもらいたい（社会文教）

【陳情第5号の2】継続審査

市に対し、高齢者のバス運賃を飯田市内一律100円にしてもらいたい。また、免許返納後の移動支援としてタクシーの利用助成をしてもらいたい（産業建設）

【陳情第6号】不採択

「インボイス制度の廃止を目指し、事業者の負担を軽減する経過措置を継続するよう求める意見書」を国に提出願いたい（産業建設）
陳情第6号については、本会議で委員長報告に対し反対の意思表示があったため、起立採決となりました。

一般質問について

一般質問は9月9日、9月10日の2日に行われ、初めて一般質問に挑む新人議員

3人を含む16人の議員が、執行機関に対して説明を求め、又は疑問に思っていることなどについて質しました。
各議員の質問内容の一部を8ページから質問順に紹介します。

議員及び委員会提出議案について

【発委第6号】
地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について

この議案は、総務委員会が審査を行った令和7年請願第3号『政府・関係省庁に対し、「地方財政の充実・強化を求める意見書」を提出願いたい』が採択となったことから、総務委員会の発議により、国会及び関係行政庁に対する意見書の提出について委員会案が提出され、本会議で可決しました。

定例会の審議結果や本会議の様子は、飯田市議会ホームページ、YouTube「飯田市議会（中継）」でご覧いただけます。

飯田市議会ホームページアドレス
<https://www.city.iida.lg.jp/site/assembly/>



HP QRコード



開会日QRコード



閉会日QRコード

総務委員会

9月2日・16日・29日に
委員会等を開催



委員会の様子は
YouTubeを
ご覧ください。

総務委員会へ付託となった議案5件について、慎重に審査を行った結果、いずれも原案のとおり可決することに決定しました。
ここでは、予算決算委員会総務分科会分担分の議案審査の中での主な質疑の内容を紹介いたします。

《予算決算委員会 総務分科会》

議案第106号 令和6年度飯田市一般会計
歳入歳出決算認定について のうち分担分

総合的な空き家対策事業について

Q 空き家活用等事業補助金について、予算770万円のところ、決算は58万6千円と大きな乖離があり、活動指標をみても空き家バンクの登録件数、成約件数ともに、年々減少している。補助金を有効に活用することで、使える空き家を維持し、活用につなげていくことになると思うが、決算を受けて、事業の今後の方向性をどう考えているか。

A 空き家の補助金に関して、予算に対して活用されている額が非常に少ない状況であり、改めて空き家がなくなるためには、

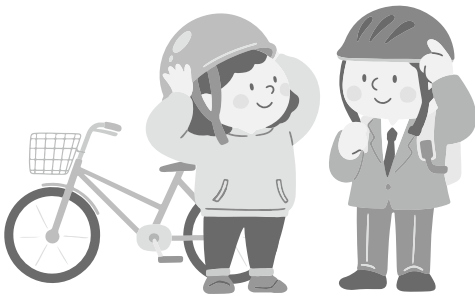
どのような補助メニューが効果的なのか検証していきたい。また、空き家バンク登録の相談があっても登録まで結びつかない物件もあるため、民間の事業者との連携を含めて取り組んでいきたい。

交通安全事業について

Q 令和6年度の自転車用ヘルメット補助申請件数について、810回の計画のところ、実績は119回と、予定よりもかなり少ない状況だが原因を把握できているか。また、令和7年度の取組予定はどうなっているか。

A 目標値は、事前に行ったアンケート結果から得たヘルメット保有率から算定したが、予想に反して申請件数は少なかった。原因が何かまでは分析できていないが、ヘルメット着用率がおおむね10%〜15%向上していることから、

一定の成果はあったと考えている。今年度については特段事業としての実施は予定していないが、引き続きヘルメット着用率が上がるように情報発信に努めていく。



情報システム事業について

Q 令和6年11月から「いいだWebまっぷ」の運用が開始された。まだまだ情報発信が少ない状況だが、今後の運用をどう考えているか。

A 地図データについては、できる限り公開するように庁内の関係部署と協議を行っているが、公開するためにはデータの正確性が求められ、データの精査も必要であるため、公開に慎重な面がある。地図データ公開の重要性については庁内で認識を共有できているため、できる限り情報を公開できるよう進めていきたい。

請願1件を「採択」しました

〔令和7年 請願第3号〕

政府・関係省庁に対し、「地方財政の充実・強化を求める意見書」を提出願いたい。

（請願者）

飯田市内 飯田市職員労働組合

執行委員長 丸山 悟史氏

【主な意見】

物価高騰対策、脱炭素の推進等、地方公共団体の担うべき役割は増大し、市民ニーズも多様化している。それに対応する財源確保として、地方固有の財源である地方交付税、地方財政全体の安定確保に向けて、飯田市議会として直接国へ訴えていくことは大変重要と考える。

社会文教委員会

9月2・17・18・
19・29日に
委員会等を開催



委員会の様子は
YouTubeを
ご覧ください。

社会文教委員会へ付託となった議案6件について、慎重に審査を行った結果、いずれも原案のとおり可決することに決定しました。議案審査における主な質疑の内容を紹介します。

議案第88号 飯田市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

【内容】児童福祉法の改正により引用している条項が変更されたことへの対応及び放課後児童支援員の資格要件の緩和のため、条例の一部を改正しようとするもの。

Q 新たなガイドラインに沿って人材を確保するということだが、具体的にどのように入材確保につなげるか。

A 資格を持っていない方が2年間、時間として2000時間以上務めると有資格者になり、この方々が支援員として育っていくところに期待している。

議案第121号 土地の取得について

【内容】（仮称）飯田市西部共同調理場整備事業に係る用地の取得

Q 三日市場を選定した理由は、交通量の多い路線の近くだが、給食の配送をどう考えているか。

A 丸山共同調理場の老朽化に伴う移転であり、市内全体の共同調理場の配置を考慮し、旭ヶ丘中学校区に設置することが望ましいと判断した。運動公園通りは非常に交通量が多いが、給食の配送に遅れが出ないように配送ルートを検討していく。

陳情1件を「継続審査」としました

【令和7年陳情第5号の1】市に対し、高齢者のタクシーの利用助成をしてもらいたい。

（陳情者）

飯田市内 交通弱者の問題を考える会

代表 丹治正教氏

【主な意見】今回の陳情は、高齢者全般に対するタクシー利用の助成だが、現状の乗り合いタクシーや交通機関の課題を当事者目線で再度調査し検討が必要と考える。

《予算決算委員会 社会文教分科会》

当分科会に分担となった議案は、予算案件4件、決算案件6件です。主な質疑の内容をご紹介します。

議案第104号 令和7年度飯田市病院事業会計補正予算（第2号）案

病床管理システムの導入について

Q 導入する病床管理システムのA機能はどのようなものか。

A 年次・月次などのレポートの自動生成、空床・満床のアラート機能のほか、天候の影響やお祭りなどのイベントなどの要素から、短・

中・長期の患者数を予測する機能もある。

議案第106号 令和6年度飯田市一般会計歳入歳出決算認定について のうち分担分

学校給食運営事業について

Q 給食費の物価高騰に対する補助が、1食あたり令和6年度は40円、今年度は70円ということだが、今後の見通しはどうか。

A 来年度以降は、現在国でも議論されていることを踏まえて検討していく必要がある。

議案第109号 令和6年度飯田市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

Q 第9期の介護保険事業計画が始まり1年が経過した。基金残高は、昨年度と今年度の積み立てにより10億円余となったが、この残高をどう考えるか。

A 第9期の計画には施設整備が含まれている。その施設ができ、利用が始まると必然的に給付費が伸びると想定している。そのような点を注視しながら取り扱いを考えていく。

議案第115号 令和6年度飯田市病院事業決算認定について

Q 経営安定のためには、収益を上げるための改善と費用の抑制が必要と考える。人件費と材料費高騰への対応が必要だが取組みはあるか。

A 診療材料の調達は民間業者の支援を受け、他の病院と共同調達を行うことにより安く調達することを考えている。人件費は超勤内容を確認しながら抑制が図れないか検討している。

産業建設委員会

9月2・18・
19・29日に
委員会等を開催



委員会の様子は
YouTubeを
ご覧ください。

今定例会に産業建設委員会へ付託となった議案11件について、いずれも原案のとおり可決することに決定しました。

議案第90号 財産の取得について（中型路線バス車両）

【内容】 遠山地区の小規模特認校通学者の交通手段として、既存の公共交通を活用するために必要な中型バス1台を購入する。中型バスは運行事業者にリースし、運行ダイヤを1便増やす。

Q バスの運行が1便増えるとのことだが時間帯は。

A 朝に1便を増便する。

Q 夕方の増便はあるか。

A 既に本年度4月から夕方の既存のダイヤ及び運行ルートを変更しており、夕方の増便は現在のところ予定していない。

議案第92号 財産の処分について

【内容】 桐林産業団地（旧サンヒルズいいだ跡地）の用地を立地企業に売却する。

Q 売却する桐林の産業用地に隣接する運動場やテニスコートの利用者への影響は。

A 旧サンヒルズいいだ解体後、産業用地として立地企業を募集してきた。処分するまでの間、運動場及びテニスコートの臨時駐車場として、暫定的に利用いただいている。

令和7年 陳情第5号の2は「継続審査」、令和7年 陳情第6号は「不採択」としました

【令和7年 陳情第5号の2】

市に対し、高齢者のバス運賃を飯田市内一律100円にしてみたい。また、免許返納後の移動支援としてタクシーの利用助成をしてもらいたい。

（陳情者） 飯田市内 交通弱者の問題を考える会
代表 丹治正教氏

【令和7年 陳情第6号】

インボイス制度の廃止をめざし、事業者の負担を軽減する経過措置を継続するよう求める意見書を国に提出願いたい。

（陳情者） 飯田市内 飯田民主商工会
会長 原寿治氏

《予算決算委員会 産業建設分科会》

当分科会に分担となった予算案件3件、決算案件8件について審査しました。

議案第100号 一般会計補正予算（第3号）案

名勝天龍峡整備事業について

Q 遊歩道へ倒木のおそれがある支障木等の調査の範囲は。

A 全ての遊歩道について調査した。

Q 遊歩道から離れた場所の枯れ木の調査は。

A 遊歩道への影響が生じる可能性のある支障木について優先的に調査した。

天龍峡活性化事業費について

Q 遊歩道の手すりの整備の範囲は。

A 修繕工事は緊急性の高い川路側を優先する。

Q 川路側を優先することだが、龍江側にも改修が必要な手すりがあるがどうか。

A 4月から5月の間に総点検した。龍江側についても劣化した手すりを確認しているが、改めて現地を確認し、計画的に整備を進めたい。

議案第105号 令和7年度飯田市下水道事業会計補正予算（第1号）案

【内容】 公共施設等の建設又は更新、維持管理、運営等を行政と民間が連携して行い、財政資金の効率的な使用や行政の効率化等を図る新たな事業形態（ウォーターPPP）に係る業務を委託する。

Q 業務委託先の業種は。

A 下水道処理に特化した業者であり、専門技術や資格を有する業者となる。

Q 10年間の長期契約の中で物価高騰などの影響もあるかと思うがどのように対応しているのか。

A 3年毎に見直すこととしている下水道経営戦略のタイミングで、影響があれば検証し、対応していく。

予算決算委員会

予算決算委員会
及び分科会における
予算議案の審査の
様子は、YouTubeで
動画配信しています。



予算決算委員会は、9月11日に前期全体会を開催し、付託のあった議案について分科会への分担を決定しました。その後、9月16日から19日にかけて各分科会を開催し、補正予算に係る予算議案6件、決算認定等に関する議案15件を審査しました。

9月26日に開催した後期全体会では、各分科会の審査について座長報告を受けるとともに議案審査等を行い、いずれも原案の通り可決又は認定することに決定しました。

また「議会による行政評価」の評価の共有及び提言書の確認を行いました（「議会による行政評価」の提言に係る詳細は中段をご覧ください）。

9月29日の閉会日には、9月4日から5日の豪雨による災害箇所への復旧事業費として令和7年度一般会計補正予算（第4号）案を審査し、原案の通り可決しました。

令和6年度飯田市各会計の決算を認定

令和6年度の決算において、一般会計、墓地事業特別会計、ケーブルテレビ放送事業特別会計の合計である普通会計は、歳入総額559億5,445万円、歳出総額550億6,945万円となり（会計間で移動した金額を控除した後の額）、令和7年度に繰り越す財源1億4,899万円を除いた実質収支は

7億3,602万円の黒字となりました。

いいだ未来デザイン2028「中期計画」の評価及び検証からの提言書を市長に手渡ししました

「議会による行政評価」は、「飯田市自治基本条例」に規定されている市議会の責務を果たし、市の執行機関の活動の監視と適正な行政運営の確保を目的に平成20年度から実施しています。

本年度は、いいだ未来デザイン2028の中期計画（令和3年度から6年度の4年間）の実施状況について、7月22日に執行機関側から説明を受け、総務、社会文教、産業建設の各分科会、及び必要に応じて連合審査会において評価・意見集約し、予算決算委員会（9月11日）において全議員で共有しました。

9月定例会では、

各分科会の評価・意見集約を執行機関側に提示し、必要に応じて担当部課長との意見交換を行うとともに、予算決算委員会（9月26日）において最終的な取りまとめを行い市長に提言しました。

令和8年度の予算編成に生かされ、さらなる市民サービスの向上につながることを期待します。

《提言書の内容はこちら》

飯田市 HP

議会による行政評価

で検索

又は、QRコード



▲ 9月29日に竹村議長から佐藤市長に提言書を手渡しました。

「議会・議員の在り方の検討について」

議長立候補所信表明演説で、83年ぶりの無投票となった市議会議員選挙を受けて、議員の在り方の検討を進めていくことを表明したことから、議会・議員の在り方の検討を始めました。

《これまでの検討経過》

1 議会・議員の役割等の振り返りとして
議会改革推進会議による研修を行い、改めて「個々が捉える議員像」を考えるきっかけづくりとした。

2 全員参加による意見交換

議会改革推進会議の研修を受け、「飯田市自治基本条例」の「第6章市議会の役割」の議員の在るべき姿、議会の在るべき姿を議員個人がどのように考えるかをレポートとして提出し、その内容について常任委員会単位で意見交換を行った。

3 市民の皆さんとの意見交換

今年度の議会報告・意見交換会で、常任委員会ごとに行う分科会のテーマを「議会・議員の在るべき姿」として市内を7ブロックに分け、8会場で行い、多くの市民の方から、多様なご意見をいただいた。

《今後の進め方の予定》

議会報告・意見交換会でいただいた意見を、議員が捉える議会・議員像と市民が求める議会・議員像との違いを中心に取りまとめを行い、（仮）検討委員会を立ちあげ協議を進め、議会内部で共有を図り、市民の皆さんにお示しする予定です。

リニア推進 特別委員会

9月22日に
委員会を開催



委員会の様子は
YouTubeを
ご覧ください。

リニア推進部から、「リニア中央新幹線建設促進長野県協議会の報告について」及び「リニア駅前広場の利活用に向けた取組の報告について」の報告を受けました。

そのうち「リニア駅前広場の利活用に向けた取組の報告について」の内容は次のとおりです。

リニア駅前広場の利活用の検討については、飯田・リニア駅前広場プラットフォームを進めてきており、10月から駅前広場の運営や維持管理を、誰が、どのように担っていくかについて、具体的に検討していく段階となった。

昨年10月のキックオフフォーラムで駅前広場の利活用の検討を開始し、その後2回のプラットフォーム会議を開催した。

今年6月から7月にかけて、プラットフォーム会員に対し、運営事業体への参加の意向調査を行い、23者から参加に前向きな回答があり、この23者を対象に説明会を開催し、10月からプラットフォーム内にワーキンググループを作り、運営事業体の組成や活用方針の具体化に向けた検討を行うことを確認した。

具体的な広場の活用内容や整備される施設、運営方法等については、10月以降のワーキンググループにおいて協議していくことになるが、その検討状況については、随時、

市民に周知していくとともに、意見や提案をお聞きしながら進めていきたい。

以上の報告を受けて次のような質疑がありました。

Q ワーキンググループの検討状況について、市民からの意見は受け付けるのか。

A プラットフォームのホームページで受け付ける仕組みがある。また、説明会等でも可能である。

Q プラットフォームでの検討状況などの情報発信は。

A ホームページのみでなく、さまざまな方法で現在も情報発信を行っているが、市民に情報が届くように、さらに工夫をしていきたい。

Q 未来を担う若い人たちにも理解してもらえるような取組は。

A 出前講座などの機会に、リニアや駅前広場の現状について説明しているが、大屋根など今後整備を進めていくにあたって、若い人たちに関わってもらえるような機会を設けていくことが重要だと考えている。

委員からさまざまな視点での発言があったため、これらを受け、委員長から「今後、議会においても協議を続けていきたい。執行機関側でも出された意見等については、事業を進めていく上で生かしていただきたい」との発言がありました。

議会の防災訓練

8月31日に実施された飯田市地震総合防災訓練（防災同日）に併せて、議会の防災訓練を2日に分けて行いました。

◆訓練内容

8月31日 議員が地元等で開催する訓練に参加することを優先し、発災後の議員の安否についてSNSを使用して議会事務局へ報告する訓練を実施しました。

9月1日 実働訓練（演習）として、正副議長、議会運営委員長、3常任委員長、各会派の代表者で構成する「飯田市議会災害対策会議」を設置し、飯田市災害対策本部から発出される情報等について議会側で共有しました。会議に参加しない議員はオンラインで傍聴しました。

また、定例会生計議運後に地震が発生（想定）したことにより、執行機関側から災害対応に注力するため議会日程の変更の要請を受け、議会日程等の変更について協議する訓練も行いました。

【訓練 見直しが必要な定例会の運営事項】

- ・会期日程
- ・市長通告を済ませた一般質問の取扱い
- ・議案の取扱い
- ・請願陳情の取扱い
- ・委員会における審査



災害発生により審議・審査が停滞し、市民の方々の生活に支障を出さないように、訓練内容の検討を重ねていきます。

災害時における地下水 (井戸等)の利用について

古 川 仁 議員 (日本共産党)



A 市では平成19年に丸西石油株式会社・川路まちづくり委員会との間で被災者への生活用水等の供給に関する協定を、平成20年に南信州食品産業協議会加盟16社と災害時における井戸水の提供に関する協定を締結している。また、今年6月には、旭松食品株式会社と災害時における水・食料供給に関することを連携して取り組むことを確認している。

Q 国はこの3月に「災害時地下水利用ガイドライン」を示したが、市の状況は。

ズバリ！ 市政を問う

第3回定例会の一般質問の概要を紹介します。
(16名・質問順) ■は、そのほかの質問項目

一般質問の様子は
YouTubeで
動画配信しています



地域医療における 医師確保についての取組は

森 本 紘 司 議員 (新政いいだ)



A 閉院を予定している診療所の事業を、開業を希望する若い医師に引き継ぐことは双方にとって大きなメリットがあると考えられる。地域医療の持続可能性を確保する観点からも、医師会等の関係機関と連携を取りながら、議員ご提案のマッチング支援を含め、診療所承継に関する必要な支援の在り方について検討を進めていきたい。

Q かかりつけ医存続のために、閉院予定者と開業予定者として行政が繋ぐマッチング事業に取り組む考えは。

飯田学園構想の現在地と 学校施設整備状況は

長 谷 部 春 生 議員 (会派きぼう)



A 学園構想の特色ある教育活動を進めるためには、学校の先生の探究学習への理解と実践力向上が必要。また、関係者への丁寧な説明や学園ごとの支援も課題。学校プールについては、水泳授業の民間施設活用が進む中で、場所によっては防火貯水槽としての機能が必要などもあり、教育的な視点や可能性も含めて学校と協議を進めていく。

Q 明らかにになった学園構想の課題と今後の学校プールの利活用の方法は。

持続可能な医療提供について

岡 村 弘 子 議員 (公明党)



A 今議会でも安定的な医療サービスへの補助事業の補正予算を計上しているが、財政支援を含め、あらゆる方策について狙(そ)上に載せて検討し、地域の病院や診療所、医療関係団体、国、県等とともに、市民が安心して医療を受けられる持続可能な体制の実現に向けて検討していきたい。
■看護師不足について

Q 財政支援を含め、医療従事者や市民の不安解決に向けた具体的な取組は。

リニア駅周辺整備について

小 平 彰 議員 (新政いいだ)



A 先に施設や設備を整備してテナントを入れるのではなく、使い方や使う人を決めてから必要な施設等を整備していく。使いながら機能を徐々に加え、リニア開業時の賑わいにつながるよう、可変性・柔軟性を持たせて進めていく。地元の農産物を買ったり、飲食したりできる道の駅的な機能を備えることで、駅の乗降客だけでなく、地元の皆さんにも使ってもらうことを想定している。

Q 賑わい創出施設とは、どのような構想で賑わいを創出するか。

地域の防災力向上を目指した 地域の取組について

市 瀬 芳 明 議員（日本共産党）



A こどもも地域の防災訓練などの活動に参加することが大切だと考える。地域活動へのこどもの参加が親の参加につながると考えるが、地域の方々の協力が重要。PTAや地域住民も含め、多くの方々が連携していくことで防災意識や地域防災力の向上が図られるため、他の地域の取組事例を紹介するなどして、取組が広がるようにしていきたい。

Q こどもたちへの積極的な取組が親の地域活動参加や地域とのつながり強化になると考えるがどうか。

地域社会で子育ての 孤立化を防止するには

宮 脇 邦 彦 議員（公明党）



A こども誰でも通園制度の推進にあたっては、こどもの気持ち置き去りにされ、親本位の取組とならないよう、こども中心の制度にしなければならぬ。地域社会全体でこどもの成長を支援していくことが重要であり、「飯田市こども若者まんなかプラン」を軸に、次代を担うこどもたちの安全で健やかな育ちへつながる取組となるよう推進していく。

Q 誰もが何でも相談できる保育環境へ「こども誰でも通園制度」をどう生かすか。

農業の地域経済循環 の推進について

正 木 利 幸 議員（新政いいだ）



A 地域循環型農業を推進していくために、地域資源を活用した「土づくり」と栽培技術の確立が重要と考える。土壌診断を有効活用し、それぞれの品目に適した土づくりと栽培方法を確立し、地域内の普及に取り組んでいく。また、環境に配慮した農産物の消費拡大のため、学校給食への導入拡大や直売所等の販売店舗数を増やし普及に努めるとともに、消費者拡大に向けたPR活動も行っていく。

Q 慣行農業と差別化を図り、循環農業を推進していく上で必要な取組は。

若者の定着を促進するための 環境づくりについて

大 平 雲 龍 議員（会派きぼう）



A いいだ未来デザイン2028後期計画の策定に際し学生と意見交換を行ったが、若者の定着を促進するためには、もともとある飯田らしさを大切にしつつ、さまざまな働き方ができることが必要との意見が多かった。これを踏まえ、「誰もが豊かさ、働きがいも感じられる、発展し続ける地域を創造（つくる）視点」を基本目標の策定におけるベースの一つとしている。

Q 若者が夢を地域で実現できるキャリア形成の道筋をどのようにつ描いているか。

農地の有効活用について

下 平 恒 男 議員（新政いいだ）



A 遊休農地対策の補助事業には、農地再生、活用支援事業と、大豆種子購入代金支払助成、大豆・そばの収穫時コンバイン利用料への補助がある。地域計画策定により、近い将来耕作者が不在となる土地が判明した。意欲ある農業者に対し市がさまざまな支援を行う中で、担い手の要望に応じ、地域計画を農地集積情報として有効に活用していきたい。

Q 策定された地域計画を、農業の担い手確保や遊休農地の削減にどのようにつなげていくか。

長野県食肉公社（松本市） 閉鎖の影響について

福 澤 克 憲 議員（会派きぼう）



A 県が設置する協議会の中で、短期的な視点にとどまらず、長野県の畜産行政をどうするかといった長期的な視点に立って、今後の方向性や具体的な中身を示す議論を行うべきだと考えている。民間事業者の幅広い知恵を借りながら、経営の成り立つ食肉処理場を設けるべく、協議会の場で市としてしっかり議論していく必要があると考える。

Q 代替策など喫緊の課題解決と同時に、長期的視点に立ち長野県や飯田市の畜産業を考えていくべきでは。

環境文化都市の取組について

遠山 雄 議員（会派きぼう）

A 市では、人権に配慮したフェアトレードの印がついた商品の購入を促すなど、消費者が各自社会的課題の解決を考慮し、そうした課題に取り組む事業者を応援しながら消費活動を行う「エシカル消費（倫理的消費）」の実践に関する普及啓発を行っている。公共調達に当たっては、ソーラーパネルに限らず、国のガイドラインを踏まえ対応していく。

Q 国のソーラーパネル推進、温暖化・脱炭素の取組と環境・人権問題の矛盾を市はどう捉えているか。

ふるさと飯田応援隊募集事業の新企画は

片町 元彦 議員（会派きぼう）

A 今年度、現地決済型のふるさと納税システムを導入予定である。現地決済型とは、旅行等で自治体を訪問した際に、その場で寄附を行い、電子クーポン等を即時に受け取り、その場で飲食や体験、宿泊に使える仕組みである。体験と寄附がリアルタイムで結びつくことで、飯田のさまざまな魅力を発信する新たな形として、新たな寄附者の増加につながると期待している。

Q 現在取り組んでいるふるさと納税の今後の新たな取組や企画はあるか。

リニア駅周辺整備について

野崎 直仁 議員（無会派）

A 多くの地権者の皆様、関係者の皆様のご理解とご協力があつて、リニア駅前広場事業の用地取得のめどが立ってきたところである。住み慣れた思い入れのある住居や、先祖代々受け継がれてきた土地をお譲りいただいた地権者及び関係者の思いをしっかりと受け止めて、一日も早く整備効果があがるよう、着実に事業を進めていきたい。

Q リニア駅前の土地取得のめどが立ったが、売却していただいた移転者への思いは。

太陽光パネルの普及に伴う影響について

松岡 秀治 議員（会派きぼう）

A 市の太陽光補助事業実績をもとに試算した量は約43万㎡、28万枚。国では2040年代に太陽光パネルの廃棄処分ピークを迎え、その量は年間50万トンと推計している。大量に廃棄される時代を見据えて、リサイクルの義務化を検討しており、適切な処分方法について、市でも事業者や民に丁寧な説明し、適正な処分を促したい。

Q 耐用年数を迎え廃棄処分される太陽光パネルの量の把握と受け入れ体制は。

令和7年度 政務調査研究報告会(前期)

各会派が政策の立案や提言に生かすため上半期に行った調査研究活動について、9月26日に報告会を行いました。

(1) 新政いいだ

ネオカル TOYOOKA の取組について
（兵庫県豊岡市）
再生可能エネルギー事業について
（兵庫県洲本市） 他

(2) 公明党

三田観光ビジョンについて（兵庫県三田市）
小中一貫教育の取組について（兵庫県小野市）
医療的ケア児支援の取組について
（兵庫県南あわじ市） 他

予防接種被害救済制度に関する今後の取組は

水月 レイ 議員（会派きぼう）

A 予防票送付時に予防接種に関する説明書を同封しており、そこに予防接種健康被害救済制度の説明と厚生労働省のホームページのリンクを掲載しているほか、市ウェブサイトでも厚生労働省の予防接種健康被害救済制度のページを掲載し、周知に努めている。国の予防接種健康被害救済制度があるため、現時点では市独自の救済制度は考えていない。

Q 泉大津市のように、市独自で医療費負担軽減の支援金を出すなど、申請者への寄り添いは考えているか。

所管事務調査としての管外視察を実施

総務委員会（7月2日～4日）



◀ 川西地区自主防災会
香川県丸亀市にて

総務委員会では、委員会が所管する事務から、「まちづくり」「人口減少対策」「防災」及び「減災」をテーマに、4項目について、先進事例を学ぶことを目的に実施いたしました。

〔香川県 丸亀市〕

川西地区の自主防災活動及び自治会加入率促進の取組について

〔広島県 三次市〕

地区別人口分析の取組について

青河地域における住民主体の取組について

〔兵庫県 神戸市 人と防災未来センター〕

阪神・淡路大震災の概要

地域防災力向上による減災社会実現に向けた取組について



▲所管事務調査
報告書はこちら



◀ 青河自治振興会
広島県三次市にて

社会文教委員会（7月8日～9日）

昨年度の社会文教委員会では、所管事務調査として「こどもまんなか社会」の実現に向け、子育て世代を中心に多くの意見を聴取し、委員間で協議し、政策提言を行いました。その過程において「こどもの居場所」の重要性が浮き彫りになったことから、こどもの居場所となる“こども食堂やフリースクール”などの調査、研究を進め、今後の市政の方向性を探ることを目的に実施しました。

〔岐阜県 関市〕 子ども食堂等の活動及び支援について

〔滋賀県 草津市〕 フリースクール利用児童生徒支援生活補助金について

〔大阪府（公財）しらさぎ育英基金〕 しらさぎ育英基金様（子ども図書館）の活動について



◀ 滋賀県
草津市役所にて



しらさぎ▶
子ども図書館



▲所管事務調査
報告書はこちら

産業建設委員会（7月10日～11日）



◀ 事業協同組合かわかみ
ワーク
奈良県川上村にて

人口減少、少子高齢化が進む中、飯田市の特徴の「山・里・街の暮らし」は、人手により管理されず区別がない場所がみられるようになりました。

都市宣言に掲げる「環境文化都市」の視点を持ちながら、市民の生活の基礎を支える農林水産業の持続可能な産業として、先進的な取組を視察しました。



◀ 桜谷地域農村RMO
推進協議会
滋賀県日野町にて



▲所管事務調査
報告書はこちら

〔奈良県 川上村〕 特定地域づくり事業「事業協同組合かわかみワーク」の取組について

〔滋賀県 日野町〕 地域の様々な関係主体が参加する協議組織（桜谷地域農村RMO推進協議会）が行う地域課題解決に向けた取組について

〔道の駅伊吹の里旬菜の森（滋賀県 米原市）〕 道の駅の持続可能な管理運営について

議員紹介

議員の人となりなどを議員自らが紹介します。(議席順に掲載)



～甲子園と仲間、そして学び～

もり もと こう し
森 本 紘 司

私は小学生の頃から野球を続け、高校は京都の平安(現:龍谷大平安)高校に進学しました。伝統ある強豪校での厳しい練習を通じ、野球の技術だけでなく礼節や他者を敬う気持ち、感謝の心を学びました。一方で、プレー中に大きな怪我をし、どうすればチームへ貢献できるかを考えた末にマネージャーへ転身し、目配り・気配り・先を読み準備することの大切さを身に染みて感じました。最後の夏には念願の甲子園に出場し、仲間と過ごした時間は今もかけがえない宝物です。

スポーツには心と体を鍛え、仲間との絆を深める力があります。子どもたちが好きなスポーツに気軽に挑戦でき、笑顔で思い出をつくれる環境づくりを進めていきたいと思います。



～皆様に感謝！～

まさ き とし ゆき
正 木 利 幸

40代前半でした。25年にも及ぶ病魔に悩み、私生活でもいろいろなことが重なり、どうすれば幸せになれるのだろう、と日々悶々としておりました。一人旅に出たり本を読みあさる中でひとつの光が見えてきました。私は、自分が幸せになろうと自分を鼓舞したり自己啓発をしたりして、もがき続けてきた。そうではない。自分が幸せになる道は、周りにいる人、地域や社会を良くしてこそ開けるものなんだ、と。それから、私は新しい家族に恵まれ、仕事でも多くの仲間が集まってくれるようになりました。長年私を苦しめ続けた病根も消えていきました。

そして今、地域の皆様に支えられて議員活動ができていることに感謝です。皆さん、ありがとうございます。

議会の動き(予定)

■令和7年第4回定例会 傍聴にお越しく下さい。
 開会日11月26日(水) 閉会日12月19日(金)

◇代表質問・一般質問
 12月3日(水)～5日(金)

◇委員会日程

予算決算委員会前期全体会	12月 8日(月)
総務委員会	12月 9日(火)
社会文教委員会	12月10日(水)
産業建設委員会	12月11日(木)
リニア推進特別委員会	12月15日(月)
予算決算委員会後期全体会	12月18日(木)

■議会への請願・陳情は、議会事務局へ
 11月10日(月)午後5時までに提出ください。

議会傍聴に際してのお願い

議場や委員会室に入る場合は、帽子、コート、マフラーの着用、傘の類の携帯はご遠慮ください。(病気その他の理由により会議への出席に必要と認められる物であって議長にあらかじめ届け出たものは例外となりますので議会事務局職員にお申し出ください。)

広報広聴委員会

委員長／関 島 百 合 副委員長／長谷部 春 生
 委員／水月 レイ 森本 紘司 岡本 恒和 岡村 弘子
 野崎 直仁 松岡 秀治 市瀬 芳明

表紙
紹介

がんばつとるに!! 南信濃

令和2年3月に策定した「南信濃基本構想」のキャッチフレーズを「ここで暮らす」とし、合言葉「遠山家族」にさまざまな活動を行っています。この基本構想では、本年10月にグランドオープンした「道の駅遠山郷」を地域振興や交流の重要な拠点として位置付けています。市で進められた施設整備の中、地域としても灯を消さないように、「かぐらの湯応援団」を組織し、これまで景観や環境整備を行ってきました。また、若い皆さんを中心に地域を元気にするイベントも始まり、地域も活気づいています。人口減少が進む中ですが、住民同士が支え合い、幸せに暮らせる「遠山家族」の実現を目指し、共感してくれる人を呼び込みながら、持続的な地域づくりを進めていきます。



「道の駅遠山郷」オープンに向け環境整備